

作物名: トマト	独立ポット耕栽培
作業名: マルハナバチ放飼 / マルハナバチ放飼	服装: 作業服・軍手・帽子

マルハナバチの放飼 I



①外箱の着地台を組み立て、巣箱の巣門を開けて、マルハナバチを放飼する。

ダンボール外箱の中に巣箱、ハチがセットされている。ハウスの開口部には逃亡防止ネットを張り、巣門が南又は東向き、直射日光が当たらない、高さ60cm以上の台上に設置する。輸送過程の振動で興奮している場合があるので、放飼は3時間程度沈静してから行う。

障がい者が作業する際の留意点	・一般的に利用されるセイヨウオオマルハナバチは、特定外来生物に指定されており、運搬・使用には法令順守が求められる。放飼は講習の受講や十分な技能を身につけた方が指導する
----------------	---

マルハナバチの放飼 II



②オシベ(葯/やく)のバイトマークを観察する。

オシベが茶色く変色した、マルハナバチのバイトマーク(嚙あと)を観察し、訪花したことを確認する。

マルハナバチの放飼 III



③マルハナバチを観察する。

個体数の減少、訪花しなくなったなどの状態になったら、巣箱を更新する。おおむね放飼後2か月程度。



障がい者が作業する際の留意点	<p>・マルハナバチはおとなしい性格で、ハチの嫌がることをしない限り自ら襲わないが、放飼中のハウスに入るときは次の点に留意する。</p> <p>①アルコールや化粧品の匂いに近寄ってくる。極端な化粧や二日酔いの状態で入らない。</p> <p>②黒色を嫌い、青色に好んで近寄ってくる。極力、黒や青の服を着て入らない。</p> <p>③巣箱に頭や目を近づける、巣箱をたたく行為は、ハチの嫌がる行為なのでしない。</p>
----------------	--